

# 抄録

# スマートゴルフコンテストサミット 2012

## ～新興国等におけるスマートコミュニティとエネルギー制約の克服～



この会議は昨年まで「スマートグリッドサミット」という名称で開催してきたが、今年は「スマートコミュニティサミット」とした。グリッドという電力系統に関する技術だけではなくコミュニケーション、すなわち、街づくりに関する技術や取り組みを紹介しよう」という試みだ。今、世界中でスマートコミュニティが必要とされている背景には新興国、先進国、経済のグローバル化、それぞれの観点からの課題がある。新興国では人口増加と都市

# 開会あいさつ

## スマートマーケティング アライアンス会長

佐々木則夫氏

## 震災からの復旧にも貢献

集中、それに伴うエネルギー消費の増加とCO<sub>2</sub>の排出増加による地球温暖化、そして都市における交通渋滞などの課題がある。先進国でも都市集中はもちろん、少子高齢化が進む中、介護に対する対応など課題が多い。また、経済のグローバル化に伴うネットコミュニティの拡大はデジタル社会への依存をさらに強めている。これらの諸課題を解決するのがスマートコミュニティだ。



新エネルギー・産業  
(NEDO)理事長

# 産官学の総力 結集して

世界人口の増加と工業化の進展、それに伴うエネルギー消費増や環境問題、都市問題が明確な課題として各国地域で認識され、危機感が共有化されつつある。その解決策として、スマートコミュニティの構築が極めて重要であると、いう共通認識が世界的に一段と高まっている。

特に日本では、東日本大震災を契機に、国民の意識が節電のみならず、再生可能エネルギーの導入など賢いエネルギーの活用へと、大きな意識変化と行動変化が顕在化している。

このようなエネルギー問題に対応するためには、需要供給の両サイドが機能的で高まっている。

古川 一夫氏  
(NEDO)理事長

# 産官学の総力 結集して スマートコミュニティの構築 が、産官学が総力を結集して 取り組むべき喫緊の課題の1 つであることは疑いない。

スマートグリッド（次世代環境地域）やスマートグリッド（次世代電力網）に関する国際会議「スマートグリッド・サミット2012」（主催新エネルギー・産業技術総合開発機構、スマートグリッド・サミット・ジャパン）が、5月30、31日に東京・有明の東京ビッグサイトで開催された。会議は世界各国でスマートグリッドを実現する立場にある政府関係者、企業の代表者が集結。実証実験から実用化時代に踏み込むスマートグリッドへの期待と課題を話し合った。サミットの模様を紙面で紹介する。サミットの詳細（動画）は、EDOのホームページ（[www.nedo.go.jp/events/report/sc\\_summit2012.html](http://www.nedo.go.jp/events/report/sc_summit2012.html)）でトーカイドとして掲載している。



## スマートコミュニティは 都市の変革をもたらす

## 電力見える化は家庭 オフィスへ

# 特別講演

## 「エネルギー、電力とスマートグリッド」



これは、力を運ぶ力になる。情報も、要もあ  
模で構い。また、レベルどにあります。スマ  
ムにてのグレードで実現する必要があります。  
いうことを、エネルギーが協調りよい  
ンセプションの上に、当局の電力供給も必  
く。どうを推進こうし、早期実現



標準ベースであることが不可欠

「ソード・定義、概念、  
および得た教訓」

# 基調講演

「スマートグリッド・定義、概念、標準、展開および得た教訓」